



噴水公園から望む端正な姿のエスプラナーデ ザグレブ「Esplanade Zagreb Hotel」。ザグレブ屈指の伝統を誇る迎賓館ホテルで、各国大使館主催のパーティー会場にもなる格式あるホテルだ。その歴史はオリエント急行がパリ＝イスタンブール間を国際長距離列車として走っていた時代に遡る



エスプラナーデ ザグレブの正面ファサード車寄せ。ホテルの旗が掲げられた中央テラスの部屋が、今回アサインされた「Junior Deluxe Suite」の位置である



そのホテル旗正面の部屋から望む整然としたドイツ風の街並み



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連協会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoterresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。



歴史を感じさせる重厚なレセプションデスク。オリエント急行に乗ってザグレブへやってくる乗客、主にヨーロッパの貴族や著名人たちが滞在するためのホテルとして、1925年にザグレブの中央駅のすぐ隣に建てられた最高級ホテルである



エントランスホールにある大型の丸時計は、オリエント急行の発着を知らせていた当時の面影を残している



ゆったりとした時間が流れるラウンジバー「Esplanade 1925 Lounge & Cocktail Bar」

Esplanade Zagreb Hotel

エスプラナーデ ザグレブ「Esplanade Zagreb Hotel」はザグレブ屈指の伝統を誇る迎賓館ホテルで、各国大使館主催のパーティー会場にもなる格式あるホテルだ。その歴史はオリエント急行がパリ＝イスタンブール間を国際長距離列車として走っていた時代に遡る。オリエント急行に乗ってザグレブへやってくる乗客、主にヨーロッパの貴族や著名人たちが滞在するためのホテルとして、1925年にザグレブの中央駅のすぐ隣に建てられた最高級ホテルである。築100年近い建物は2004年に全面改装された

が、オリエント急行の乗客が宿泊していた頃の面影が所々に残る興味深いホテルだ。

クロアチアの首都ザグレブは人口約80万人の美しい古都だ。旧ユーゴスラビア連邦の一員であった他の国々の首都と比べて洗練された、そしてザグレブの語感から受けるドイツ風の街並みが心地よい。クロアチアは1992年にスロベニアに次いで2番目に旧ユーゴスラビアから独立している。国名の“Croatia”という発音は、英語でクロエイシャが一般的で、クロアチアとローマ字読みで発音するのはだぶん日本だけかも知れない。新市街の整然とした重厚な街並みに対し、旧市街はゴシックやバロック様式の華



メインダイニング「Zinfandel's」の正面エントランス。純白のドレープカーテンが印象的だ。レストランの名はクロアチア原産のブドウ種の「ジンファンデル」に由来する



著名な女性シェフの Ana Grgic 氏が腕を振るう、旧ユーゴスラビア連邦随一のファインダイニングだ



レストランマネージャー氏とヘッドソムリエ氏の歓迎を受ける



メインダイニング「Zinfandel's」の独創的な料理の数々



正面ファサード中央に位置する「Junior Deluxe Suite」の気品ある佇まい。約 50㎡の広さを持ちテラスからザグレブの街並みを望める



著名な女性シェフの Ana Grgic 氏とレストランマネージャー氏



テラスカフェ「Oleander Terrace」から望む風景



キングベッドからシッティングエリア方向



付属のテラスはホテル正面ファサードの中央に位置する

やかな建築物が多く、13世紀ごろから文化・芸術において発展して来た歴史を肌で感じられる。

エスプラナーデザグレブはスイート14を含む全208室を擁し、白亜の美しい佇まいは、「バルカン半島はここで終わり、文明はここから始まる」というホテルの歴史を表現しているようだ。今回は正面ファサード中央に位置する「Junior Deluxe Suite」を紹介したい。約50㎡の広さを持つ気品ある部屋で、テラスからザグレブの街並みを望める。メインダイニング「Zinfandel's」は著名な女性シェフの Ana Grgic 氏が腕を振るう旧ユーゴ随一のファインダイニングで、その名はクロアチア原産のブドウ種の「ジン

ファンデル」に由来する。その他、お洒落なカフェ「Le Bistro」、ラウンジバー「Esplanade 1925 Lounge & Cocktail Bar」など多彩で楽しめる。スパ施設は「Esplanade Health Club」でトリートメントやマッサージなど充実しており、とくにロクシタンとタイアップした「Esplanade Spa Ritual by L'Occitane Bath」が好評だ。

エスプラナーデザグレブは2002年に全館クローズして全面改修の後、2004年11月に「The Regent Esplanade Zagreb」として盛大に再オープンした。現在は Regent の名称は解消しているが、エントランスホールにある大型の丸時計は、オリエント急行の発着を知らせていた当時の面影を残している。



玄関やベッドルームからも出入りできる機能的なバスルーム



バスアメニティはロクシタンのヴァーベナー「Wavener de l'occitane」を使用